



九州北部では、今後1か月(9月11日～10月10日)予想は平年に比べ晴れの日が多く、降水量は平年並または多い確率ともに40%、日照時間は、少ない確率40%と予想されています。

## 1. 早期落水は品質を落とす原因

登熟後半には根の活力が低下してきます。水分不足は稲体の老化をより早めるので、**収穫7日前まで間断灌水**を続けましょう。

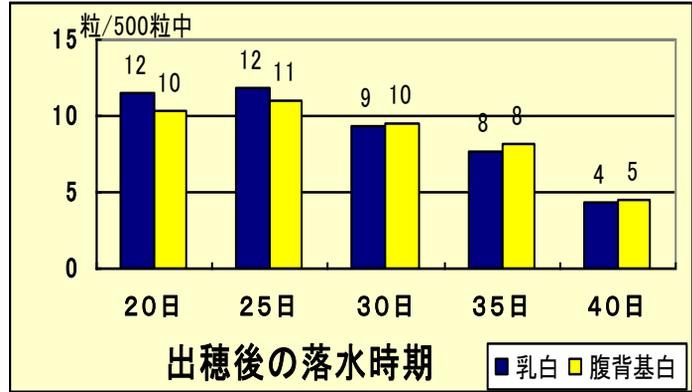


図 早期落水の影響

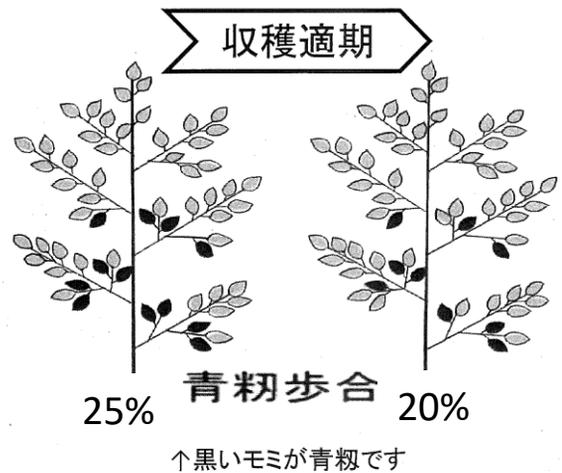
早期落水すると、右図のグラフのように、玄米が充実せず、乳白や腹背基白の増加となり、品質低下を招きます。

## 2. 収穫の目安について

青粳率(1穂の中に緑色の粳が残っている割合)が**20～25%の時**(出穂後の積算気温で950℃)を目安に収穫することで玄米品質が最も良好となります。

刈り遅れると茶米、胴割米が多くなるので注意してください。

朝露が落ちてからコンバイン収穫に入りましょう。



## 3. 9月・10月は秋の農作業安全確認月間です！

コンバインの安全対策ポイント

①コンバインの事故で最も多いのが、転落・転倒事故です。特に後進時に事故が多く発生する傾向がありますのでより慎重に運転しましょう。

②巻込まれによる負傷事故に注意しましょう。粳詰まりの除去や点検整備・清掃中に多く発生しております。点検整備・清掃作業中はエンジンを停止しましょう。

○**収穫作業は計画的に、ゆといをもって行いましょう。**